

空襲で湊の浜へ 逃げました

長田 平(87歳)

1930(昭和5)年、堺市耳原町(現協和町)に生まれました。15年戦争の始まった年で私の幼少の時期と重なりました。小学1年の時に日中戦争が開戦し、後に国民学校となり6年の時に太平洋戦争が開戦しました。

小学校にも戦争の影響があらわれて来て、6隊訓練として、通信隊、機動隊、音楽隊その他が作られ、私は通信隊に入り、モールス、手旗信号を教えられ軍隊教育を受けました。旧制中学に進学し、強く戦争の影響を受けました。

一、軍事教練が正課となり、厳しい軍隊訓練を受けました。二、男は兵隊にとられ、男手が不足していたので、農繁期には農村へ田植えを手伝いに行きました。

三、空襲が多くなることから、飛行場で機体を爆風から守る土盛り工事の手伝いに、泉佐野の飛行場へ行きました。四、戦争の末期となり、本土決戦に備えての陣地作りに和歌山の山へ徹夜の穴掘り作業に行きました。

五、大阪狭山市の軍需工場へ学徒動員され働きました。

この工場が空襲的となり爆弾が命中し、私は防空壕に入っていたので助かりましたが、生

「とも」の昨年9月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私の戦争体験 (11)

徒が大勢入っていたので爆風で将棋倒しになってしまいました。工場の床には大きな穴があいていました。

終戦直前の7月9日夜中から10日未明にかけて、堺市が空襲にあいました。私は家族と共に湊の浜へ布団を持って逃げました。堺市内は焼け野原になりました。空襲警報が解除になり家に帰る途中、風車と野菜畑越しに、南方の浜寺石津町の家々が燃える炎が見えました。この炎が今も眼に焼き付いています。帰った時は夜が明けていて、家は焼けずに残っていました。

戦時中は軍隊優先で国民には窮乏が押し付けられ、食糧難で、雑草もパンに入れて食べたりました。「欲しがりません勝つまでは」との標語が作られていました。

学徒動員先の工場で1945年8月15日、重大放送あるからと、正午に集まりラジオ放送を聞き、終戦を迎えました。

戦後直ちに中学在学中に平和運動、青年運動に参加し、それが縁になって25歳で健康守る会事務局員となり、耳原病院の事務職員としてつながって、40年間勤務し65歳で定年退職しました。

在職中に健康友の会みみはらの会員となり、退職後も友の会活動をつづけ、22年後の現在も大仙西支部の世話人をしてい

ます。社会医療法人同仁会の社保平和委員と評議員も拝命しています。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先／〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●しめくり／2017年10月11日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

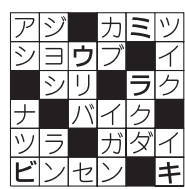
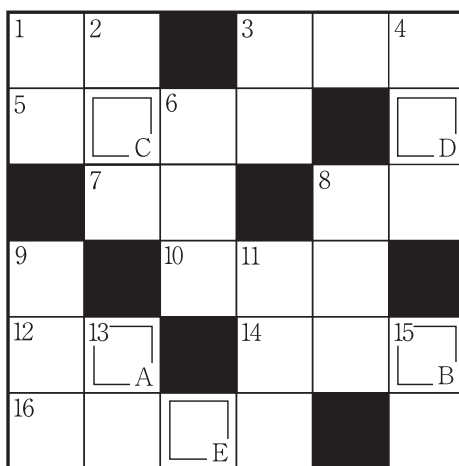
タテのキー

- ①○○入り娘
- ②——を強打し気を失う
- ③書きつけ
- ④この犬は人に——を加
- ⑤収益性の高いものや人を○○箱と呼ぶ
- ⑥○○○一転
- ⑦——な計画で大失敗
- ⑧試合の途中——を報告
- ⑨手下
- ⑩浮標
- ⑪収益性の高いものや人を○○箱と呼ぶ

横のキー

- ①平和を象徴する鳥
- ②1920年代、30年代は昭和——
- ③恐怖症だから登れない
- ④キーを八等○○に
- ⑤○○情、友○○
- ⑥打てば響くように——が利く
- ⑦二度。——の挑戦
- ⑧並外れた力

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



●7月号の答
「ウミビラキ(海開き)」
●応募数／93通

川柳

核兵器禁止に何故かボイコット
この内閣ポーカーならば総入れ替え
共謀罪施行されたが霧の中

俳句

老いてなお音頭の声に手が上がり
夏めく日八十路なかばの道険し
垣根から四葩の大輪顔を出す

短歌

白シャツの汗ぬぐいつつ電柱の
陰に入って白鶴と化す

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2017年10月11日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

宮本 弥栄

上野 恵

水野 茂子
福渡 澄子

原田 良子

加山 勝久

安東 利彦

会員さん 紹介 ②8

津久野支部

ひらばやしみつあき けいこ
平林 光明さん・敬子さん



土砂災害慰問の伊豆大島にて

す。NHKのニュース番組で集团的自衛権を扱った総量は約3時間ですが、政府関係の動きには約2時間。これに対し反対論者のコメントは僅か33秒。こんな事例も「服飾評論家ピーコ」さんが、昨年亡くなった永六輔さんの追悼番組で「永さんは戦争はいやだ。世の中がそこのほつに向かっているのだからそれを言いたいんでしょ」と言ったら、そこがぱつぱり抜かれていたそうです。これからは、質すべきことには声をあげ、優れたものには後押ししていきたいです。よろしくお願いします。

敬子さん——私もしばらくNHKに勤め、その後保育園の園長を務めました。NHKの番組で私の好きなものは「ダーウィンが来た」や「Nスペ」です。また夜に放映の「ドクターG」は医学知識の少ない私でも、症状から病名を探る過程を謎解きするような感じで興味深く見えています。耳原総合病院のお医者さんが何人も出演されるのを見て信頼感を深めました。

(構成・機関紙編集部)

編集後記

堺平和のための戦争展に参加しました。切り絵や写真などもあり、多彩な展示で文化にも触れることが出来ました。平和であってこそその文化であり、文化があ

ってこそその平和であると実感しました。また、平和を次の世代の子ども達に伝えていくため、戦争の被害も被害も様々な点から知っていくことが必要だと感じました。平和を願うごく当たり前の気持ちの尊さを感じた2日間でした。(藤原)